

現場研修会を実施しました！

令和4年1月31日に、塩谷町船生地区にある明雲寺トンネルにおいて農業農村整備事業に携わる県職員を対象に現場研修会を実施しました。本トンネルは全長107mのほぼ直線の水路トンネルであり、船生用水の一部として、農業用水の供給に役立っています。

本年度、塩谷南那須農業振興事務所では老朽化した本トンネルを直すため、「**既成管挿入工法**」の工事を実施しています。

研修会では、当事務所の職員や工事の請負業者から説明を受けた後、水路トンネル内部の様子や馬蹄形FRPM管を挿入する一連の流れを見学しました。

珍しい工法の施工現場を間近で見学し、多くの職員が水路トンネルにおける工事について理解を深める良い機会になったと思います。



既成管挿入工法とは？

既設の管水路の中に管を挿入し、間隙をエアモルタルで充填する工法です。

安全かつ**短期間**で施工することが可能です！



馬蹄形FRPM管

底がやや平たく、“馬の蹄”のような形をしていることで、流下断面を最大限確保することが可能です。

FRPM管とは「強化プラスチック複合管」のことであり、他の管材と比べ、軽量で取り扱いやすく、なおかつ丈夫なのが大きな特徴です。

